

授業科目名・形態	福祉行財政と福祉計画	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	林 宏二		実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

福祉サービスや支援は、国が基本的な政策の方向を示し、とりわけ 1990 年の福祉関係 8 法改正以降、市町村を基本とし、行政とサービス利用者である住民及び事業者が参加して策定された計画に基づいて行われている。社会福祉の専門職者が支援する際必要な知識、例えば、福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体と方法等の知識を体得することを目的とする。

【到達目標】

福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点についての理解を基本的な目標とする。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 福祉の法制度、福祉計画の概要
- 第 2 回 行政、社会福祉と法制度
- 第 3 回 福祉行政の組織、社会福祉基礎構造改革
- 第 4 回 財政と社会福祉、民生費
- 第 5 回 民間福祉事業者の財源、福祉サービス利用と費用負担
- 第 6 回 サービスに関する情報提供・相談、申請と決定、契約、サービス利用までの流れ
- 第 7 回 福祉行政における相談体制、専門諸機関、地域の相談システム
- 第 8 回 福祉行政機関の専門職
- 第 9 回 福祉計画の目的と意義
- 第 10 回 福祉計画の基本的視点
- 第 11 回 福祉計画の過程と留意点
- 第 12 回 福祉計画におけるニーズ把握、計画の評価
- 第 13 回 福祉計画における住民参加
- 第 14 回 福祉計画の実際①老人福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画、障害福祉計画
- 第 15 回 福祉計画の実際②次世代育成支援行動計画、地域福祉計画

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、児童・家庭福祉論

【教科書等】

社会福祉士養成講座編集委員会編 10「福祉行財政と福祉計画」中央法規出版

【参考文献】

社会福祉小六法 中央法規出版

【成績評価方法】

レポート（10%）小テスト（10%）筆記試験（80%）の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、5 年間矯正施設で社会福祉士として勤務していた。矯正施設勤務で培われた社会保障・社会福祉制度の活用の仕方、社会ニーズの把握の方法、相談援助の方法を伝えたいと思う。

【学生へのメッセージ】

昨今の大きなテーマとなっている地域共生社会の議論に関心を持つこと。併せて福祉制度改革の動向にも注視すること。また法律的な内容も含まれることから、福祉小六法を持参すること。